

2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年5月9日

東

上場会社名 ニチアス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5393 URL https://www.nichias.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武井 俊之
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務執行役員 (氏名) 中田 公敬 (TEL) (03) 4413-1111
 定時株主総会開催予定日 2022年6月29日 配当支払開始予定日 2022年6月30日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|----------------------------|------|----------------------------|------|--------|------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 216,236 | 10.1 | 26,264 | 33.9 | 30,572 | 43.7 | 22,034 | 105.6 |
| 2021年3月期 | 196,372 | △6.0 | 19,616 | △4.0 | 21,279 | △1.6 | 10,715 | △27.0 |
| (注) 包括利益 | 2022年3月期 24,095百万円(68.9%) | | 2021年3月期 14,269百万円(△0.8%) | | | | | |

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|--------------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2022年3月期 | 332.18 | — | 15.2 | 13.1 | 12.1 |
| 2021年3月期 | 161.53 | — | 8.2 | 10.0 | 10.0 |
| (参考) 持分法投資損益 | 2022年3月期 82百万円 | 2021年3月期 46百万円 | | | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|---------------------|---------------------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 246,924 | 155,522 | 62.5 | 2,325.95 |
| 2021年3月期 | 219,602 | 136,450 | 61.7 | 2,041.63 |
| (参考) 自己資本 | 2022年3月期 154,286百万円 | 2021年3月期 135,429百万円 | | |

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年3月期 | 25,073 | △5,523 | △5,881 | 54,414 |
| 2021年3月期 | 18,683 | △6,799 | △5,469 | 39,589 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2021年3月期 | — | 38.00 | — | 40.00 | 78.00 | 5,174 | 48.3 | 4.0 |
| 2022年3月期 | — | 42.00 | — | 44.00 | 86.00 | 5,704 | 25.9 | 3.9 |
| 2023年3月期(予想) | — | 44.00 | — | 44.00 | 88.00 | | 32.4 | |

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|------|--------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 109,000 | 5.3 | 12,000 | △5.3 | 12,000 | △13.6 | 8,000 | △21.9 | 120.60 |
| 通期 | 225,000 | 4.1 | 26,500 | 0.9 | 26,500 | △13.3 | 18,000 | △18.3 | 271.36 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期 | 67,811,917株 | 2021年3月期 | 67,811,917株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期 | 1,479,228株 | 2021年3月期 | 1,477,947株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2022年3月期 | 66,333,210株 | 2021年3月期 | 66,334,673株 |

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件、各項目の変動要因など、業績予想等に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 3 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 3 |
| (6) 事業等のリスク | 4 |
| 2. 経営方針 | 5 |
| (1) 会社の経営の基本方針 | 5 |
| (2) 目標とする経営指標 | 6 |
| 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 6 |
| 4. 連結財務諸表及び主な注記 | 7 |
| (1) 連結貸借対照表 | 7 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 9 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 11 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 15 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 15 |
| (会計方針の変更) | 15 |
| (セグメント情報等) | 16 |
| (1株当たり情報) | 21 |
| (重要な後発事象) | 21 |
| 5. その他 | 22 |
| 生産、受注及び販売の状況 | 22 |
| 6. 補足説明資料 | 23 |
| (1) 連結主要数値の推移 | 23 |
| (2) 四半期連結業績推移 | 23 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における事業環境は、日本の景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和されつつあるものの、持ち直しの動きに一部弱さがみられます。製造業では設備投資や生産は持ち直しに足踏みがみられ、輸出はおおむね横ばいとなっております。海外の景気は、米国では持ち直しており、新興国でも持ち直しの動きがみられる一方、中国では回復テンポがこのところ鈍化しております。

このような状況の中、当社グループにおいては、半導体製造装置向け製品の需要が高水準で推移したことに加え、自動車部品の需要が新型コロナウイルス感染症の流行前の水準まで回復したことにより、当社グループの売上高は、前連結会計年度に対し10.1%増の2,162億36百万円となりました。

利益面では、営業利益が262億64百万円、経常利益が305億72百万円、親会社株主に帰属する当期純利益が220億34百万円となり前連結会計年度と比較し、それぞれ33.9%、43.7%、105.6%の増加となりました。

なお、当連結会計年度の期首から「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用したことに伴い、当該会計基準適用前と比べ当連結会計年度の売上高が7億99百万円減少し、営業利益及び経常利益がそれぞれ1億14百万円増加しております。詳細については、「4. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」および「4. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) (セグメント情報) 4. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

当連結会計年度のセグメント別売上高の状況は以下のとおりです。

プラント向け工事・販売については、収益認識会計基準等の適用に伴い工事契約に係る収益認識の方法を変更したことに加え、石油精製・石油化学、電力向けのメンテナンス需要が前連結会計年度に比べ減少したため、売上高は前連結会計年度に対し7.2%減の589億69百万円となりました。

工業製品については、電子部品・半導体関連市場の回復により、ふっ素樹脂製品、無機断熱材の需要が堅調に推移したことに加え、中国市場での環境製品の需要が高水準で推移したため、売上高は前連結会計年度に対し11.6%増の479億3百万円となりました。

高機能製品については、半導体の需要が好調に推移したため、売上高は前連結会計年度に対し44.9%増の360億19百万円となりました。

自動車部品については、前連結会計年度に新型コロナウイルス感染症の影響による世界的な需要減がありましたが、前年第3四半期以降、国内外の需要は回復しているため、売上高は前連結会計年度に対し16.8%増の446億62百万円となりました。

建材については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う着工の遅れや工期遅延の影響が緩和され、フロア工事の需要が回復したため、売上高は前連結会計年度に対し7.0%増の286億81百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、現金及び預金が147億98百万円、原材料及び貯蔵品が37億73百万円、商品及び製品が33億26百万円、完成工事未収入金が26億19百万円、受取手形及び売掛金が24億41百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して273億21百万円増加の2,469億24百万円となりました。

当連結会計年度末における負債は、支払手形及び買掛金が33億58百万円、未払法人税等が23億36百万円、電子記録債務が21億80百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して82億50百万円増加の914億2百万円となりました。

当連結会計年度末における純資産は、利益剰余金が170億23百万円、為替換算調整勘定が19億18百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して190億71百万円増加の1,555億22百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して148億240百万円増加し544億140百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は250億730百万円（前年同期は186億830百万円の獲得）となりました。

これは、法人税等の支払額71億720百万円、棚卸資産の増加67億160百万円等により資金が減少しましたが、税金等調整前当期純利益306億790百万円、減価償却費66億160百万円、仕入債務の増加37億420百万円等により資金が増加したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は55億230百万円（前年同期は67億990百万円の支出）となりました。

これは、有形固定資産の売却による収入18億570百万円、関係会社の清算による収入15億470百万円等により資金が増加しましたが、有形固定資産の取得による支出92億620百万円等により資金が減少したことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は58億810百万円（前年同期は54億690百万円の支出）となりました。

これは、配当金の支払額54億340百万円等により資金が減少したことによります。

(4) 今後の見通し

2023年3月期の見通しにつきましては、プラント向け工事・販売、工業製品および高機能製品の各セグメントにおいて堅調な推移が見込まれます。このような状況を踏まえ、2023年3月期の業績につきましては次のとおり予想しております。

売上高2,250億円、営業利益265億円、経常利益265億円、親会社株主に帰属する当期純利益180億円。

なお、上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、収益力を高めるために経営基盤の強化を図りながら、配当可能利益の拡大と株主価値の向上を通じて株主のみなさまに対する長期的かつ適正な利益還元を図る一方、再投資のための内部留保を充実することを利益配分の基本方針としています。

このような基本方針のもと、配当につきましては安定した配当の継続に重点を置き、さらに当該期の利益水準や財務状況、将来の事業展開に向けた設備投資や研究開発に必要な投資資金などを総合的に勘案して実施することとしております。また、株主のみなさまへの利益還元に関する目標としましては、本日発表いたしました「中期経営計画」において、配当性向を25%～50%程度とすることを定めております。

当連結会計年度の配当金につきましては、第2四半期には1株当たり42円の配当を実施し、期末配当については1株当たり44円とさせていただきます。

また、2023年3月期の配当金につきましては、上記の方針に基づき、中間配当金は1株当たり44円、期末配当金は1株当たり44円を予定しておりますが、財務状況や次期の業績等を総合的に勘案したうえで、最終的に決定させていただきます。

(6) 事業等のリスク

投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。なお、将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループが判断したものであります。

□景気変動、経済情勢のリスク

当社グループは、ガasket、パッキンなどのシール材の製造販売、ロックウール、無機繊維などを基材とする各種の無機断熱材の製造販売、ふっ素樹脂など高機能樹脂を使用した耐食材や耐食機器部品の製造販売、エンジンおよび周辺機器用のシール材や防音・防熱用機能材などの自動車部品の製造販売、けい酸カルシウム板や断熱材を中心とした各種不燃建材の製造販売、また、電力・ガス、石油精製・石油化学プラントの保温保冷工事、フリーアクセスフロア工事などを事業として行っており、需要先は石油精製・石油化学、化学、鉄鋼、電力・ガス、自動車、半導体、建設など幅広い産業分野にわたっています。このため、全産業の設備投資動向、また耐食材については半導体の需要動向、自動車部品については自動車の生産、販売台数の動向、建材については住宅およびビル建設需要の動向に依存し、最終的には内外の景気動向や経済情勢次第で業績が変動する可能性があります。

□海外事業活動のリスク

当社グループはアジアをはじめとして海外で事業を展開しております。海外での事業においては、通常予期しえない法律や規制の変更あるいは急激な金融情勢の変化など、経済的に不利な要因の発生や政治的混乱などのリスクが存在します。こうしたリスクが顕在化した場合、当社グループの海外での活動に支障が生じ、当社グループの業績や財務状況に影響を与える可能性があります。

□原材料調達のリスク

当社グループは、主な原材料として金属、コークス、パルプ、ゴム、ふっ素樹脂等を使用しています。これらの原材料の供給元の経済環境の変化、供給能力の低下などにより、必要な原材料の調達が困難になった場合には、当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

□債権管理のリスク

当社グループは取引先に対して、売掛金や受取手形などの債権を有しております。与信管理については常に充分注意しておりますが、予期せぬ貸倒れにより、当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

□会計上の見積りに係わるリスク

当社グループは、工事契約に係る収益認識、固定資産減損会計に関連する回収可能価額、繰延税金資産の回収可能性等に関して見積りを行っております。これらの見積りは、将来に関する一定の仮定に基づいて作成しており、それらの見直しにより当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

□退職給付債務のリスク

当社グループの年金資産の時価が下落した場合や年金資産の運用利回りが低下した場合、または、予定給付債務を計算する前提となる基礎率などに変更があった場合、損失が発生する可能性があります。

□製品の品質維持のリスク

当社グループは、各生産拠点において品質保証の国際規格ISO9001のもとで各製品を製造しておりますが、全ての製品について欠陥が無く、将来クレームが発生する可能性が全くないという保証はありません。製品の欠陥は当社グループの評価に影響を与え、業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

□情報セキュリティのリスク

当社グループは、当社および顧客・取引先についての個人情報・機密情報を保有しており、これらの情報の外部流出を防止するために、社内ルールの整備、教育の徹底、セキュリティシステム強化等の対策を講じていますが、情報の流出が発生した場合には、損害補償等により当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

□災害に係わるリスク

当社グループは国内外に複数の生産拠点などを有しています。製品供給が途絶えた場合の顧客への影響度合い、市場での重要性、代替品への切り替え可能性などを考慮した対策を施しておりますが、当該拠点のいずれかが大規模地震などに被災し稼働困難となった場合には、当社グループの業績や財務状況に影響を及ぼす可能性があります。

□アスベスト(石綿)による健康障害者への補償のリスク

当社および一部の国内子会社は、当社起因のアスベスト疾病により死亡または療養されている従業員および元従業員に対して、社内規程に基づき補償金を支払っております。また、一定の基準を満たされた当社および一部の国内子会社の工場周辺住民の方に救済金を支払っております。今後もアスベストによる健康障害者への補償費用等の負担が継続する可能性があります。

なお、アスベスト健康被害に関し、損害賠償請求の提訴を受けておりますが、当社といたしましては適切に対処していく所存です。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、1896年わが国における保温・断熱分野のパイオニアとしてスタートし、様々な産業分野へ「断つ・保つ」の技術を基盤とした製品とサービスを提供することで成長してまいりました。

2011年には経営理念として

ニチアス理念

「ニチアスは、『断つ・保つ』の技術で地球の明るい未来に貢献します。」

を制定し、「風通しを良くする」「仲間で仕事をする」「全体最適で考える」という具体的行動指針のもと、以下の3項目を「私たちの約束」として掲げ、事業運営を行っております。

□ルールを守り、社会と共に歩みます。

□感謝の心を忘れず、お客様の満足を追求します。

□互いに信頼し、共に成長します。

(2) 目標とする経営指標

ニチアス理念のもと当社グループは、「働きやすい、明るい会社」の実現に向け、2027年3月期を最終年度とする中期経営計画「しくみ130」（2023年3月期～2027年3月期）を策定し、数値目標、環境目標については、下記のとおりといたしました。

①数値目標

| | 2025年3月期 | 2027年3月期 |
|----------|----------|----------|
| 売上高(億円) | 2,400 | 2,500 |
| 営業利益率(%) | 13.0 | 15.0 |
| ROE(%) | 12.5 | 13.0 |
| ROIC(%) | 11.0 | 12.0 |

②環境目標

| | 2025年3月期 | 2027年3月期 |
|--------------|----------|----------|
| CO2排出量(万t) | 22.0 | 21.7 |
| 産業廃棄物排出量(千t) | 18.3 | 17.1 |

※中期経営計画「しくみ130」において、「し」は従業員と家族の幸せ、「く」は課題解決のための工夫、「み」は持続的成長を目指す明るい未来と定義づけ、外部環境が目まぐるしく変化する中、変化に適応できる「しくみ」を構築し、当社創立130周年となる2027年3月期の目標達成に向け、課題に取り組んでまいります。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 39,799 | 54,597 |
| 受取手形及び売掛金 | 29,589 | 32,031 |
| 電子記録債権 | 10,508 | 10,860 |
| 完成工事未収入金 | 18,869 | 21,488 |
| 商品及び製品 | 15,401 | 18,727 |
| 仕掛品 | 2,823 | 3,618 |
| 原材料及び貯蔵品 | 9,591 | 13,364 |
| 未成工事支出金 | 5,851 | 1,010 |
| その他 | 3,229 | 3,742 |
| 貸倒引当金 | △18 | △19 |
| 流動資産合計 | 135,645 | 159,422 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 59,520 | 62,657 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △34,880 | △36,221 |
| 建物及び構築物（純額） | 24,640 | 26,436 |
| 機械装置及び運搬具 | 78,226 | 80,968 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △66,161 | △67,651 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 12,064 | 13,317 |
| 土地 | 14,118 | 14,821 |
| リース資産 | 372 | 239 |
| 減価償却累計額 | △251 | △153 |
| リース資産（純額） | 120 | 86 |
| 建設仮勘定 | 4,885 | 4,983 |
| その他 | 10,500 | 11,875 |
| 減価償却累計額及び減損損失累計額 | △8,940 | △9,669 |
| その他（純額） | 1,560 | 2,206 |
| 有形固定資産合計 | 57,391 | 61,851 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 761 | 772 |
| その他 | 574 | 635 |
| 無形固定資産合計 | 1,335 | 1,407 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 18,379 | 17,151 |
| 長期貸付金 | 4 | 364 |
| 退職給付に係る資産 | 1,635 | 1,463 |
| 繰延税金資産 | 1,301 | 1,355 |
| その他 | 3,941 | 3,936 |
| 貸倒引当金 | △30 | △28 |
| 投資その他の資産合計 | 25,230 | 24,242 |
| 固定資産合計 | 83,957 | 87,502 |
| 資産合計 | 219,602 | 246,924 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 19,184 | 22,542 |
| 電子記録債務 | 12,240 | 14,421 |
| 1年内償還予定の社債 | 400 | - |
| 短期借入金 | 6,805 | 10,145 |
| リース債務 | 170 | 144 |
| 未払金 | 4,887 | 6,047 |
| 未払法人税等 | 3,750 | 6,087 |
| 未成工事受入金 | 1,188 | 190 |
| 賞与引当金 | 3,175 | 3,268 |
| その他 | 4,053 | 4,876 |
| 流動負債合計 | 55,857 | 67,725 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 13,000 | 13,000 |
| 長期借入金 | 3,912 | 625 |
| リース債務 | 511 | 617 |
| 繰延税金負債 | 2,264 | 1,921 |
| 退職給付に係る負債 | 4,352 | 4,467 |
| 訴訟損失引当金 | 837 | 460 |
| その他 | 2,416 | 2,584 |
| 固定負債合計 | 27,294 | 23,677 |
| 負債合計 | 83,151 | 91,402 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 12,128 | 12,128 |
| 資本剰余金 | 13,857 | 13,857 |
| 利益剰余金 | 106,880 | 123,904 |
| 自己株式 | △4,056 | △4,059 |
| 株主資本合計 | 128,810 | 145,830 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,922 | 8,911 |
| 為替換算調整勘定 | △1,027 | 890 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,275 | △1,346 |
| その他の包括利益累計額合計 | 6,618 | 8,455 |
| 非支配株主持分 | 1,021 | 1,235 |
| 純資産合計 | 136,450 | 155,522 |
| 負債純資産合計 | 219,602 | 246,924 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-------------------|--|--|
| 売上高 | | |
| 商品及び製品売上高 | 136,677 | 159,545 |
| 完成工事高 | 59,694 | 56,691 |
| 売上高合計 | 196,372 | 216,236 |
| 売上原価 | | |
| 商品及び製品売上原価 | 100,672 | 115,257 |
| 完成工事原価 | 49,635 | 47,599 |
| 売上原価合計 | 150,307 | 162,856 |
| 売上総利益 | 46,064 | 53,380 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費 | 8,194 | 8,226 |
| 一般管理費 | 18,253 | 18,888 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 26,448 | 27,115 |
| 営業利益 | 19,616 | 26,264 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 84 | 81 |
| 受取配当金 | 404 | 432 |
| 為替差益 | 36 | 1,793 |
| 受取賃貸料 | 522 | 559 |
| 持分法による投資利益 | 46 | 82 |
| 雇用調整助成金等 | 314 | 131 |
| 投資有価証券売却益 | 208 | 1,121 |
| その他 | 539 | 478 |
| 営業外収益合計 | 2,158 | 4,679 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 170 | 146 |
| 賃貸収入原価 | 27 | 38 |
| 石綿特別拠出金 | 46 | 45 |
| その他 | 249 | 140 |
| 営業外費用合計 | 494 | 371 |
| 経常利益 | 21,279 | 30,572 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 396 | 1,665 |
| 補助金収入 | 206 | 21 |
| 関係会社清算益 | - | 311 |
| 訴訟損失引当金戻入額 | - | 181 |
| 特別利益合計 | 602 | 2,179 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 134 | 314 |
| 固定資産圧縮損 | 116 | 1,351 |
| 減損損失 | 3,515 | 246 |
| 訴訟損失引当金繰入額 | 479 | - |
| 新型コロナウイルス感染症による損失 | 103 | 39 |
| 災害による損失 | - | 119 |
| 特別損失合計 | 4,349 | 2,072 |
| 税金等調整前当期純利益 | 17,532 | 30,679 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,643 | 9,128 |
| 法人税等調整額 | 102 | △614 |
| 法人税等合計 | 6,745 | 8,513 |
| 当期純利益 | 10,787 | 22,166 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 71 | 131 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 10,715 | 22,034 |

連結包括利益計算書

| | (単位：百万円) | |
|--------------|--|--|
| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
| 当期純利益 | 10,787 | 22,166 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,317 | △10 |
| 為替換算調整勘定 | △380 | 2,008 |
| 退職給付に係る調整額 | 545 | △69 |
| その他の包括利益合計 | 3,482 | 1,928 |
| 包括利益 | 14,269 | 24,095 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 14,176 | 23,871 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 93 | 223 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|--------|--------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 12,128 | 13,857 | 101,206 | △4,053 | 123,139 |
| 会計方針の変更による 累積的影響額 | | | | | - |
| 会計方針の変更を反映し た当期首残高 | 12,128 | 13,857 | 101,206 | △4,053 | 123,139 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △5,041 | | △5,041 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 10,715 | | 10,715 |
| 自己株式の取得 | | | | △3 | △3 |
| 自己株式の処分 | | △0 | | 0 | 0 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | △0 | 5,673 | △2 | 5,671 |
| 当期末残高 | 12,128 | 13,857 | 106,880 | △4,056 | 128,810 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|--------------|------------------|-----------------------|---------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 5,604 | △624 | △1,821 | 3,158 | 936 | 127,233 |
| 会計方針の変更による 累積的影響額 | | | | | | - |
| 会計方針の変更を反映し た当期首残高 | 5,604 | △624 | △1,821 | 3,158 | 936 | 127,233 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △5,041 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | 10,715 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △3 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | 3,317 | △402 | 546 | 3,460 | 85 | 3,546 |
| 当期変動額合計 | 3,317 | △402 | 546 | 3,460 | 85 | 9,217 |
| 当期末残高 | 8,922 | △1,027 | △1,275 | 6,618 | 1,021 | 136,450 |

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------|--------|--------|---------|--------|---------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 12,128 | 13,857 | 106,880 | △4,056 | 128,810 |
| 会計方針の変更による 累積的影響額 | | | 428 | | 428 |
| 会計方針の変更を反映し た当期首残高 | 12,128 | 13,857 | 107,308 | △4,056 | 129,238 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △5,439 | | △5,439 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 22,034 | | 22,034 |
| 自己株式の取得 | | | | △3 | △3 |
| 自己株式の処分 | | △0 | | 0 | 0 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | △0 | 16,595 | △3 | 16,591 |
| 当期末残高 | 12,128 | 13,857 | 123,904 | △4,059 | 145,830 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------|------------------|--------------|------------------|-----------------------|---------|---------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係る 調整累計額 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 8,922 | △1,027 | △1,275 | 6,618 | 1,021 | 136,450 |
| 会計方針の変更による 累積的影響額 | | | | | | 428 |
| 会計方針の変更を反映し た当期首残高 | 8,922 | △1,027 | △1,275 | 6,618 | 1,021 | 136,879 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | △5,439 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | | | | 22,034 |
| 自己株式の取得 | | | | | | △3 |
| 自己株式の処分 | | | | | | 0 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | △10 | 1,918 | △70 | 1,836 | 214 | 2,051 |
| 当期変動額合計 | △10 | 1,918 | △70 | 1,836 | 214 | 18,643 |
| 当期末残高 | 8,911 | 890 | △1,346 | 8,455 | 1,235 | 155,522 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 17,532 | 30,679 |
| 減価償却費 | 6,536 | 6,616 |
| 減損損失 | 3,515 | 246 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △396 | △1,632 |
| 有形固定資産廃棄損 | 133 | 280 |
| 関係会社清算損益(△は益) | - | △311 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 0 | △2 |
| 退職給付に係る資産の増減額(△は増加) | △460 | 171 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 87 | 115 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △208 | △1,121 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 41 | 83 |
| 受取利息及び受取配当金 | △488 | △514 |
| 支払利息 | 170 | 146 |
| 為替差損益(△は益) | 73 | △1,270 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △3,156 | 251 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △654 | △6,716 |
| 未成工事支出金の増減額(△は増加) | △248 | 170 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 885 | 3,742 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | 331 | △151 |
| 未払金の増減額(△は減少) | △426 | 376 |
| 未成工事受入金の増減額(△は減少) | △98 | △86 |
| 訴訟損失引当金の増減額(△は減少) | 420 | △376 |
| 固定資産圧縮損 | 116 | 1,351 |
| 補助金収入 | △206 | △21 |
| 雇用調整助成金等 | △314 | △131 |
| 新型コロナウイルス感染症による損失 | 103 | 39 |
| 災害による損失 | - | 119 |
| その他 | 558 | △134 |
| 小計 | 23,850 | 31,924 |
| 利息及び配当金の受取額 | 488 | 514 |
| 利息の支払額 | △170 | △149 |
| 補助金の受取額 | 135 | 29 |
| 雇用調整助成金等の受取額 | 296 | 27 |
| 新型コロナウイルス感染症による損失の支払額 | △55 | △39 |
| 災害による損失の支払額 | - | △73 |
| 法人税等の支払額 | △6,076 | △7,172 |
| 法人税等の還付額 | 214 | 13 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 18,683 | 25,073 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額(△は増加) | 1,007 | 25 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △8,068 | △9,262 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 434 | 1,857 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △230 | △339 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △4 | △6 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 216 | 1,212 |
| 貸付けによる支出 | △3 | △394 |
| 貸付金の回収による収入 | 4 | 4 |
| 関係会社の清算による収入 | - | 1,547 |
| その他 | △155 | △167 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △6,799 | △5,523 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 80 | 40 |
| 長期借入れによる収入 | 615 | 120 |
| 長期借入金の返済による支出 | △500 | - |
| 社債の償還による支出 | △400 | △400 |
| リース債務の返済による支出 | △214 | △194 |
| 自己株式の純増減額 (△は増加) | △2 | △3 |
| 配当金の支払額 | △5,040 | △5,434 |
| 非支配株主への配当金の支払額 | △8 | △9 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △5,469 | △5,881 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 67 | 1,155 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 6,481 | 14,824 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 33,108 | 39,589 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 39,589 | 54,414 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これによる主な変更点は以下のとおりです。

・工事契約に係る収益認識

従来、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を採用し、その他の工事については工事完成基準を採用していましたが、少額またはごく短期間の工事を除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の売上高は799百万円減少し、売上原価は395百万円減少し、販売費及び一般管理費は519百万円減少し、営業利益、経常利益および税金等調整前当期純利益はそれぞれ114百万円増加しております。また、当連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、連結株主資本等変動計算書の利益剰余金の期首残高は428百万円増加しております。

当連結会計年度の1株当たり純資産額は1円21銭増加し、1株当たり当期純利益は1円20銭増加しております。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会等の意思決定機関が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、市場別の事業本部制を敷いており、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部を基礎としたセグメントから構成されており、「プラント向け工事・販売」「工業製品」「高機能製品」「自動車部品」および「建材」の5つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

報告セグメントごとの主な事業内容は下記のとおりであります。

| 報告セグメントの名称 | 主な事業内容 |
|-------------|--|
| プラント向け工事・販売 | 電力、石油精製・石油化学産業などの各種プラントの保温工事、保冷工事、耐火工事、防音工事、防災工事の設計と施工およびメンテナンスと石油精製・石油化学産業のプラント設備用のシール材（ガスケット、パッキン）、無機繊維製断熱材、ふっ素樹脂製品の販売 |
| 工業製品 | 電力、ガス、鉄鋼、環境、医療、食品などの幅広い産業分野へのシール材（ガスケット、パッキン）、無機繊維製断熱材、ふっ素樹脂製の各種成形素材・加工品・耐食ライニング材およびハニカムフィルターの製造・販売 |
| 高機能製品 | 半導体・液晶製造装置用のふっ素樹脂製部品、無機繊維製断熱製品、ハニカムフィルターおよびシール材の製造・販売 |
| 自動車部品 | エンジンおよびエンジン周辺機器用のシール材や防音、防熱、制振用機能材などの自動車部品の製造・販売 |
| 建材 | けい酸カルシウムを主材とした不燃内装材、化粧板、ロックウールを基材とする住宅用断熱材など各種不燃建材、断熱材の製造・販売およびオフィスビルなどの不燃建材による耐火被覆工事や各種フロア材によるフリーアクセスフロア工事の設計と施工 |

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。なお、セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいて算定した合理的な内部振替価格によっております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注) | 連結 財務諸表 計上額 |
|------------------------|---------------------|--------|-----------|-----------|--------|---------|------------|-------------------|
| | プラント 向け 工事・販売 | 工業製品 | 高機能 製品 | 自動車 部品 | 建材 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 63,530 | 42,925 | 24,855 | 38,245 | 26,814 | 196,372 | — | 196,372 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 8,296 | — | — | — | 8,296 | △8,296 | — |
| 計 | 63,530 | 51,222 | 24,855 | 38,245 | 26,814 | 204,668 | △8,296 | 196,372 |
| セグメント利益 | 7,998 | 5,904 | 3,601 | 1,894 | 218 | 19,616 | — | 19,616 |
| セグメント資産 | 35,690 | 53,211 | 21,915 | 41,150 | 21,481 | 173,449 | 46,152 | 219,602 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 300 | 2,312 | 1,119 | 2,122 | 680 | 6,536 | — | 6,536 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 193 | 3,971 | 325 | 1,221 | 632 | 6,344 | 1,358 | 7,703 |

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額46,152百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なものは、提出会社の現金及び預金、管理部門及び研究部門に係る資産並びに繰延税金資産等であります。
- (2) 有形固定資産及び無形固定資産増加額の調整額1,358百万円は、管理部門及び研究部門に係る資産等の設備投資額であります。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 (注) | 連結 財務諸表 計上額 |
|------------------------|---------------------|--------|-----------|-----------|--------|---------|------------|-------------------|
| | プラント 向け 工事・販売 | 工業製品 | 高機能 製品 | 自動車 部品 | 建材 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 58,969 | 47,903 | 36,019 | 44,662 | 28,681 | 216,236 | — | 216,236 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | 8,319 | — | — | — | 8,319 | △8,319 | — |
| 計 | 58,969 | 56,223 | 36,019 | 44,662 | 28,681 | 224,556 | △8,319 | 216,236 |
| セグメント利益 | 6,164 | 8,033 | 7,931 | 4,032 | 102 | 26,264 | — | 26,264 |
| セグメント資産 | 34,286 | 60,104 | 24,468 | 45,779 | 23,282 | 187,922 | 59,001 | 246,924 |
| その他の項目 | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 327 | 2,465 | 1,072 | 2,184 | 567 | 6,616 | — | 6,616 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 40 | 2,956 | 925 | 1,181 | 406 | 5,508 | 5,846 | 11,355 |

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント資産の調整額59,001百万円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産の主なもの、提出会社の現金及び預金、管理部門及び研究部門に係る資産並びに繰延税金資産等であります。
- (2) 有形固定資産及び無形固定資産増加額の調整額5,846百万円は、管理部門及び研究部門に係る資産等の設備投資額であります。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当連結会計年度の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当連結会計年度の「プラント向け工事・販売」の売上高は347百万円減少、セグメント利益は99百万円増加し、「工業製品」の売上高は189百万円減少、セグメント利益は0百万円減少し、「高機能製品」の売上高は121百万円減少、セグメント利益は1百万円減少し、「自動車部品」のセグメント利益は1百万円増加し、「建材」の売上高は141百万円減少、セグメント利益は15百万円増加しております。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

| 日本 | アジア | その他 | 合計 |
|---------|--------|-------|---------|
| 162,797 | 26,216 | 7,358 | 196,372 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

| 日本 | アジア | その他 | 合計 |
|--------|--------|-------|--------|
| 45,354 | 10,469 | 1,566 | 57,391 |

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

| 日本 | アジア | その他 | 合計 |
|---------|--------|-------|---------|
| 175,932 | 31,813 | 8,491 | 216,236 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

| 日本 | アジア | その他 | 合計 |
|--------|--------|-------|--------|
| 48,907 | 11,278 | 1,665 | 61,851 |

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 | 連結 財務諸表 計上額 |
|------|---------------------|-------|-----------|-----------|----|-------|-----|-------------------|
| | プラント 向け 工事・販売 | 工業製品 | 高機能 製品 | 自動車 部品 | 建材 | 計 | | |
| 減損損失 | — | 2,998 | 431 | — | 84 | 3,515 | — | 3,515 |

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | 調整額 | 連結 財務諸表 計上額 |
|------|---------------------|------|-----------|-----------|----|-----|-----|-------------------|
| | プラント 向け 工事・販売 | 工業製品 | 高機能 製品 | 自動車 部品 | 建材 | 計 | | |
| 減損損失 | — | 246 | — | — | — | 246 | — | 246 |

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎、1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| 項目 | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|-------------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 1株当たり純資産額 | 2,041円63銭 | 2,325円95銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 純資産の部の合計額(百万円) | 136,450 | 155,522 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額 (百万円) | 1,021 | 1,235 |
| (うち非支配株主持分) | (1,021) | (1,235) |
| 普通株式に係る期末の純資産額(百万円) | 135,429 | 154,286 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株) | 66,333 | 66,332 |

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|---------------------------------|--|--|
| 1株当たり当期純利益金額 | 161円53銭 | 332円18銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する当期純利益(百万円) | 10,715 | 22,034 |
| 普通株主に帰属しない金額(百万円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円) | 10,715 | 22,034 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 66,334 | 66,333 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

生産、受注及び販売の状況

1. セグメント別生産高

(単位：百万円、%)

| セグメントの名称 | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 増減率 | 当連結会計年度 構成比率 |
|----------|--|--|------|-----------------|
| 工業製品 | 33,176 | 37,759 | 13.8 | 34.6 |
| 高機能製品 | 16,701 | 24,648 | 47.6 | 22.6 |
| 自動車部品 | 32,017 | 38,263 | 19.5 | 35.0 |
| 建材 | 8,401 | 8,615 | 2.5 | 7.9 |
| 合計 | 90,296 | 109,286 | 21.0 | 100.0 |

2. セグメント別受注高

(単位：百万円、%)

| セグメントの名称 | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 増減率 | 当連結会計年度 構成比率 |
|-----------------|--|--|------|-----------------|
| プラント向け 工事・販売 | 61,014 | 59,916 | △1.8 | 25.9 |
| 工業製品 | 43,638 | 50,979 | 16.8 | 22.0 |
| 高機能製品 | 27,089 | 44,591 | 64.6 | 19.3 |
| 自動車部品 | 38,867 | 46,514 | 19.7 | 20.1 |
| 建材 | 28,864 | 29,242 | 1.3 | 12.6 |
| 合計 | 199,473 | 231,243 | 15.9 | 100.0 |

3. セグメント別売上高

(単位：百万円、%)

| セグメントの名称 | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) | 増減率 | 当連結会計年度 構成比率 |
|-----------------|--|--|------|-----------------|
| プラント向け 工事・販売 | 63,530 | 58,969 | △7.2 | 27.3 |
| 工業製品 | 42,925 | 47,903 | 11.6 | 22.2 |
| 高機能製品 | 24,855 | 36,019 | 44.9 | 16.7 |
| 自動車部品 | 38,245 | 44,662 | 16.8 | 20.7 |
| 建材 | 26,814 | 28,681 | 7.0 | 13.3 |
| 合計 | 196,372 | 216,236 | 10.1 | 100.0 |

6. 補足説明資料

ニチアス株式会社(5393) 2022年3月期 決算短信

2022年3月期 決算発表 補足資料

(1) 連結主要数値の推移

(単位:百万円)

| | 通期 | | | | | | | |
|---------------------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|----------|---------|
| | 2018年3月期 | 2019年3月期 | 2020年3月期 | 2021年3月期 | 2022年3月期 | | 2023年3月期 | |
| | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 実績 | 前期比増減率 | 予想 | 前期比増減率 |
| 売上高 | 197,495 | 215,495 | 208,876 | 196,372 | 216,236 | 10.1% | 225,000 | 4.1% |
| 営業利益 | 21,357 | 22,629 | 20,427 | 19,616 | 26,264 | 33.9% | 26,500 | 0.9% |
| 営業利益率(%) | 10.8% | 10.5% | 9.8% | 10.0% | 12.1% | | 11.8% | |
| 経常利益 | 21,804 | 23,171 | 21,633 | 21,279 | 30,572 | 43.7% | 26,500 | △ 13.3% |
| 経常利益率(%) | 11.0% | 10.8% | 10.4% | 10.8% | 14.1% | | 11.8% | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 14,956 | 15,861 | 14,674 | 10,715 | 22,034 | 105.6% | 18,000 | △ 18.3% |
| 当期純利益率(%) | 7.6% | 7.4% | 7.0% | 5.5% | 10.2% | | 8.0% | |
| 1株当たり当期純利益(円) | 222.73 | 238.70 | 221.21 | 161.53 | 332.18 | 105.6% | 271.36 | △ 18.3% |
| 総資産 | 196,459 | 206,426 | 208,076 | 219,602 | 246,924 | 12.4% | — | — |
| 純資産 | 109,705 | 117,774 | 127,233 | 136,450 | 155,522 | 14.0% | — | — |
| 自己資本 | 109,195 | 116,786 | 126,297 | 135,429 | 154,286 | 13.9% | — | — |
| 自己資本比率(%) | 55.6% | 56.6% | 60.7% | 61.7% | 62.5% | | — | — |
| 有利子負債 | 23,818 | 26,065 | 26,077 | 25,861 | 25,652 | △ 0.8% | — | — |
| 有利子負債依存度(%) | 12.1% | 12.6% | 12.5% | 11.8% | 10.4% | | — | — |
| 設備投資額 | 12,772 | 12,816 | 8,978 | 7,703 | 11,355 | 47.4% | 10,000 | △ 11.9% |
| 減価償却費 | 4,800 | 5,760 | 6,274 | 6,536 | 6,616 | 1.2% | 7,000 | 5.8% |
| 研究開発費 | 5,692 | 5,976 | 6,132 | 6,168 | 6,110 | △ 0.9% | 6,000 | △ 1.8% |

※1 『『税効果会計に係る会計基準』の一部改正』(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を2019年度3月期の期首から適用しており、2018年3月期に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

※2 当社は2018年10月1日をもって普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。2018年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※3 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を当連結会計年度の期首から適用しており、当連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を適用した後の指標等となっております。

(2) 四半期連結業績推移

(単位:百万円)

| | 2021年3月期 | | | | 2022年3月期 | | | | 前期比増減率 |
|---------------------|----------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|---------|
| | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | 第1四半期 | 第2四半期 | 第3四半期 | 第4四半期 | |
| 売上高 | 43,048 | 46,322 | 49,300 | 57,700 | 52,272 | 51,253 | 56,294 | 56,416 | △ 2.2% |
| 営業利益 | 3,803 | 3,333 | 5,208 | 7,270 | 6,600 | 6,071 | 7,399 | 6,193 | △ 14.8% |
| 営業利益率(%) | 8.8% | 7.2% | 10.6% | 12.6% | 12.6% | 11.8% | 13.1% | 11.0% | |
| 経常利益 | 3,320 | 4,380 | 5,412 | 8,166 | 7,208 | 6,686 | 8,184 | 8,492 | 4.0% |
| 経常利益率(%) | 7.7% | 9.5% | 11.0% | 14.2% | 13.8% | 13.0% | 14.5% | 15.1% | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 1,829 | 2,836 | 3,792 | 2,257 | 5,416 | 4,832 | 5,728 | 6,056 | 168.3% |
| 当期純利益率(%) | 4.3% | 6.1% | 7.7% | 3.9% | 10.4% | 9.4% | 10.2% | 10.7% | |

※本資料に掲載されている現在の計画、見通しなどのうち歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、

これらは現在入手可能な情報から得られたデータを会社の判断に基づいて示しております。

従って、実際の業績は様々な要因により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。